

スマーナ

訪日外国人が増えています。国や地域で生活習慣やマナーはそれぞれ。まねたくない例がある一方、学ぶことも多いです。気持ちよいく感じてもらえる接し方を知っておきましょう。

公共の場での

振る舞いについてです。私が飛行機の客室乗務

員として働いていたときのこと。上下関係が厳しく、先輩がエレベーターのボタンを押さ

ずると、後輩たちの手が四方八方から一斉に伸びます。「気遣い」をアピールするのです。ところが、見知らぬ人の場合はどうでしょう。ボタンを押してあげていますか？

外国に行くと驚くのが、見知らぬ人同士のコミュニケーションの良さです。エレベーターに乗り合わせると、「Hi（ハー

イ）」と目を合わせてほほ笑み、必要なら相手の為に扉を押さえます。行き先階を尋ねるなど、

海外に学ぶ 見知らぬ人にも親切に

ごく小さなやり取りが実に心地良いのです。

日本では、利害関係者や顔見



知り同士の「世間」と、知らない人同士の「社会」での振る舞いに差があると感じます。様々な人種や民族が共に暮らすのが当たり前の海外では、歴史的にも見知らぬ人との接し方を学んできたのでしよう。

言語の違う人と言葉を交わすのはハードルが高いとは思いますが、身ぶり手ぶりなら簡単。気持ちがあれば伝わります。

ちなみに、エレベーターの閉ボタンの連打、階数のライトを目で追うのは、外国人には奇異に映るようです。

(ビジネススマナー講師

美月 あきこ)